

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公開番号】特開 2018-73610 (P2018-73610A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-211694 (P2016-211694)

【国際特許分類】

F 2 1 S 41/00 (2018.01)

F 2 1 S 43/00 (2018.01)

F 2 1 S 45/00 (2018.01)

B 6 0 Q 3/74 (2017.01)

B 6 0 Q 3/10 (2017.01)

F 2 1 W 103/00 (2018.01)

F 2 1 W 104/00 (2018.01)

F 2 1 W 105/00 (2018.01)

F 2 1 Y 115/30 (2016.01)

【F I】

F 2 1 S 8/10 3 7 1

B 6 0 Q 3/02 C

B 6 0 Q 3/04 Z

F 2 1 Y 115:30

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 7 日 (2019.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基体に装着して使用される照明装置であって、
可撓性を有する長尺の導光部材と、
透光性の材料からなり、前記導光部材を保持する基材と、
前記導光部材に入光するレーザ光を発光する光源とを備え、
前記基材は、前記導光部材から発光された光を出光する出光面となる第一の面と、前記
第一の面の反対側において、前記導光部材を保持する溝が形成された第二の面とを有し、
前記溝は、少なくとも、溝中に保持される前記導光部材の厚みと同じ深さを有すること
を特徴とする、照明装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の照明装置であって、前記第二の面に形成された溝の表面に、微細な凹凸形状が設けられている、照明装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の照明装置であって、前記基材には、所定の間隔で複数列の溝が形成されている、照明装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の照明装置であって、該複数列の溝において、隣接する二列の溝が、屈曲部を介して連続した溝とされており、かつ / または、少なくとも二列の溝が、基材の一

端面においてそれぞれ開口部を有し、可撓性を有する一本の導光部材が、少なくとも前記屈曲部及び／または基材外で屈曲しながら、該屈曲部及び／または開口部を介して複数の溝に配置される、照明装置。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の照明装置と、車両用部材からなる基体とを備え、前記照明装置は、前記第二の面を前記基体の表面に対向させた状態で、前記基体に固定される、車両部品。